**研　究　業　績　目　録**　　　　　　 　川村康文

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏　　名 | | 生 年 月 日 | 専　　　　攻 | | | | 学　　　　　位 | | |
| 川 村 康 文 | | 昭和34年12月28日 | 理　科　教　育  　エネルギー科学 | | | | 修士（社会学）龍谷大学  修士（教育学）京都教育大学  博士（エネルギー科学）京都大学 | | |
| 学 　　術　 　論　　文 | | | | | | | | | |
| 発　表  年　月 | 論　　文　　名 | | | 本人執筆頁数 | 審査 | 共 同 執 筆 者 名 | | 発表誌名（書） | 発行機関または発行所名 |
| 1.  1985. 3 | 小中高の「異なる物質を同量はかりとる場合にみられる計量法の実態」についての調査 | | | 共同研究 | 無 | 金子兼･高田雅之･馬場保彦･飛騨芳広･川村康文 | | 京都教育大学教育実践研究年報　第１号pp.11-21 | 京都教育大学附属教育実践研究センター |
| 2.  1986. 3 | 教育実習指導方法の開発に関する研究 | | | ２ | 無 | 山川信晃･西之園晴夫･長澤直孝･橋本雅文･川村康文･多羅間拓也･小寺慶昭･矢野靖恭･將池季和･迫田恒夫･松田邦広 | | 京都教育大学教育実践研究年報　第２号  pp.1-16 | 京都教育大学附属教育実践研究センター |
| 3.  1986. 3 | コンピュ-タ実習実践報告および諸問題について | | | 45 | 無 |  | | 京都教育大学附属高校研究紀要　第39号  pp.139-183 | 京都教育大学附属高校 |
| 4.  1987.10 | 本校生徒の理科学習の実態とその考察 | | | 38 | 無 | 京教大附高理科教官グループ  発表 川村康文 | | 京都教育大学附属高校研究紀要　第42号  pp.85-122 | 京都教育大学附属高校 |
| 5.  1988. 3 | 教育実習指導方法の開発に関する研究Ⅱ  自己学習方式による指導案作成のための教材開発 | | | ２ | 無 | 山川信晃･西之園晴夫･長澤直孝･藤本正裕･盛永清隆･川村康文･橋本雅文･多羅間拓也 | | 京都教育大学教育実践研究年報　第４号  pp.1-12 | 京都教育大学附属教育実践研究センター- |
| 6.  1988.10 | 本校生徒の理科学習の実態とその考察 その２ | | | 19 | 無 | 京教大附高理科教官グループ  発表 川村康文 | | 京都教育大学附属高校研究紀要　第44号  pp.1-23 | 京都教育大学附属高校 |
| 7.  1989. 3 | 環境教育の授業(1)  －中学校社会の場合－ | | | 共同研究 | 無 | 岩田貢･竹谷孝司･谷尾憲三･田中曜次･前園律子･川村康文･田渕春三･土倉亮一･藤田哲雄･松良俊明･山本俊夫 | | 京都教育大学教育実践研究年報　第５号  pp.29-40 | 京都教育大学附属教育実践研究センター |
| 8.  1991. 3 | 環境教育の授業(2)  －中学校理科の場合－ | | | 共同研究 | 無 | 岩田貢･河原雅人･竹谷孝司･坪井隆･田中曜次･前園律子･川村康文･ 田渕春三･土倉亮一･広木正紀･藤田哲雄･松良俊明 | | 京都教育大学教育実践研究年報　第７号  pp.9-18 | 京都教育大学附属教育実践研究センター |
| 9.  1992. 2 | 日本の理科教育と社会科教育の比較と接点についてのＳＴＳ教育からみた一考察 | | | 18 | 無 |  | | 龍谷大学社会学論集第10･11合併号  pp.131-149 | 龍谷大学社会学会 |
| 10.  1992. 3 | 環境教育の授業(3)  －高等学校理科の場合－ | | | 17 | 無 | 三野衛･池森武史･河原雅人･竹谷孝司･坪井隆･田中曜次･前園律子･川村康文･田渕春三･土倉亮一･坂東忠司･広木正紀･藤田哲雄･松良俊明 | | 京都教育大学教育実践研究年報　第８号  pp.51-67 | 京都教育大学  附属教育実践  研究センター |
| 11.  1992. 3 | ｢水の循環｣から見た小学校・中学校・高等学校理科教材の一貫性とその生かし方(Ⅰ) | | | ３ | 無 | 松田邦広･三野衛･中島正裕･井生達也･馬場保彦･竹谷孝司･坪井隆･金子英一･高木英男･前園律子･井上嘉夫･川村康文･斎藤正治･高田雅之･桝本力･石塚信夫･広木正紀･藤田哲雄 | | 京都教育大学教育実践研究年報　第８号  pp.1-19 | 京都教育大学  附属教育実践  研究センター |
| 12.  1993. 3 | 生態系の比較社会学的一考察 | | | 65 | 有 |  | |  | 龍谷大学社会学修士論文 |
| 13.  1993. 3 | 高等学校における環境教育の実践　－その１― | | | 14 | 無 |  | | 京都教育大学環境教育研究年報　第１号  pp.15-28 | 京都教育大学教育学部附属環境教育実践センター |
| 14.  1993. 3 | Ｃ.ギアツの『農業のインボリューション』にみる生態学的アプローチ（その１） | | | 29 | 無 |  | | 龍谷大学社会学論集第12･13合併号  pp.42-70 | 龍谷大学社会  学会 |
| 15.  1993. 7 | ＳＴＳ教育の視点にたった新カリキュラム物理Ⅱの課題研究の試み  －「体感」の物理教育をめざして－ | | | ６ | 無 |  | | 日本科学教育学会研究会研究報告Vol.8 No.1pp.17-22 | 日本科学教育学会 |
| 16.  1994. 3 | 高等学校における環境教育の実践　－その２－ | | | 12 | 無 |  | | 京都教育大学環境教育研究年報　第２号  pp.17-28 | 京都教育大学教育学部附属環境教育実践センター |
| 17.  1994. 3 | ｢水の循環｣から見た小学校・中学校・高等学校理科教材の一貫性とその生かし方(Ⅱ) －中学校理科における実践(1)－ | | | 共同研究 | 無 | 中島正裕･松田邦広･三野衛･井生達也･馬場保彦･竹谷孝司･宮田佳久･高木英男･土田弘幸･前園律子･井上嘉夫･市田克利･川村康文･斎藤正治･松森弘治･桝本力･広木正紀･藤田哲雄 | | 京都教育大学教育実践研究年報　第10号  pp.145-154 | 京都教育大学  附属教育実践  研究センター |
| 18.  1994. 3 | Science Education For the Future:Relating STS-Education and Environmental Education | | | 13 | 無 |  | | 京都教育大学附属高校研究紀要　第55号  pp. 103-115 | 京都教育大学附属高校 |
| 19-1.  1994. 9 | 体感の物理教育 | | | ３ | 有 |  | | 理科の教育  Vol.43，No.9,  pp.32-34 | 日本理科教育  学会編･  東洋館出版 |
| 20-2.  1995. 3 | 高等学校物理における構成主義的アプローチをふまえた教授・学習過程に関する実践的研究 | | | 125 | 有 |  | |  | 京都教育大学修士論文 |
| 21.  1996. 3 | 大学生に見られる小・中・高等学校時代の理科学習の実態と問題点 | | | 18 | 無 | 藤田哲雄 | | 京都教育大学紀要自然科学  第88号B  pp.15-32 | 京都教育大学 |
| 22.  1996. 3 | 高校物理における放射線計測の実践Ⅰ－物理授業におけるマルチチャンネルアナライザーの利用法について－ | | | 共同研究 | 無 | 松森弘治 | | 京都教育大学教育実践研究年報　第12号  pp.43-50 | 京都教育大学附属教育実践研究センター |
| 23.  1996. 3 | 高校物理における放射線計測の実践Ⅱ－物理授業でのマルチチャンネルア  ナライザーの教育効果について－ | | | 10 | 無 | 松森弘治 | | 京都教育大学教育実践研究年報　第12号  pp.51-60 | 京都教育大学附属教育実践研究センター |
| 24.  1996. 3 | 高等学校における環境教育の実践　－その３－ | | | 10 | 無 |  | | 京都教育大学環境教育研究年報　第４号  pp.１-10 | 京都教育大学教育学部附属環境教育実践センター |
| 25-3.  1996. 3 | 「慣性力実験器」の製作およびそれを用いての学習効果の測定 | | | 12 | 有 |  | | 日本理科教育学会研究紀要 Vol.36, No.3  pp.13-24 | 日本理科教育学会 |
| 26-4.  1996.12 | 高校生にみられる小・中学校理科学習の実態と問題点 | | | ４ | 有 |  | | 物理教育  Vol.44，No.4，pp.393-396 | 日本物理教育学会 |
| 27-5.  1997. 3 | フロッピーケースなどで簡単にできる加速度計 | | | ４ | 有 |  | | 近畿の物理教育　第３号  pp.25-28 | 日本物理教育  学会近畿支部  年報 |
| 28.  1997. 3 | 高校物理の力学学習における素朴概念の変容に関する認知心理学的研究 | | | ９ | 無 |  | | 平成8年度文部省科学研究費補助金(奨励研究B)研究成果報告書 |  |
| 29-6.  1997. 5 | 大豆を栽培して食べる | | | ４ | 有 |  | | 理科の教育  Vol.46，No.5,  pp.58-61 | 日本理科教育  学会編･  東洋館出版 |
| 30-7.  1997. 6 | 運転の力学を教材とした高等学校物理の実践 | | | ９ | 有 |  | | 科学教育研究，Vol.21，  No.2,  pp.126-134 | 日本科学教育  学会 |
| 31-8.  1997. 8 | 中学校新教育課程で学んだ高校生の小・中学校理科学習の実態と問題点 | | | ５ | 有 |  | | 物理教育  Vol.45，No.4，pp.213-217 | 日本物理教育学会 |
| 32.  1998. 3 | パソコンとデータの共有ができるタイプの電子手帳を用いた理科実験中の児童・生徒の評価方法の開発(2)－経験の浅い指導者による試み－ | | | 10 | 無 | 藤田哲雄 | | 京都教育大学教育実践研究年報　第14号  pp.173-182 | 京都教育大学附属教育実践研究センター |
| 33-9.  1998. 3 | 力学法則における高校生の関心・意欲と理解度を高めるための実験演示法の開発 | | | 10 | 有 | 子安増生 | | 科学教育研究，Vol.22，  No.1, pp.32-41 | 日本科学教育  学会 |
| 34-10.  1998. 3 | 高等学校におけるＳＴＳ教育の実践 | | | ４ | 有 |  | | 近畿の物理教育　第４号  pp.26-29 | 日本物理教育  学会近畿支部  年報 |
| 35-11.  1999. 4 | フロッピーケース型加速度計を利用した等速円運動の実験 | | | ４ | 有 |  | | 物理教育  Vol.47，No.2，pp.62-65 | 日本物理教育学会 |
| 36-12.  1999. 9 | ペットボトルを利用した簡単な温室効果実験 | | | ３ | 有 |  | | 理科の教育  Vol.48，No.9,  pp.46-48 | 日本理科教育  学会編･  東洋館出版 |
| 37-13.  1999.12 | 高等学校の物理学習の視点からみた青少年の物理離れの実態 | | | ２ | 有 |  | | 理科の教育  Vol.48，No.12，pp.23-24 | 日本理科教育  学会編･  東洋館出版 |
| 38.  2000. 3 | 放物運動学習におけるコンピュータ・シミュレーションの先行オーガナイザ的利用 | | | 14 | 無 | 子安増生 | | 京都教育大学教育実践研究年報　第16号  pp.85-98 | 京都教育大学附属教育実践研究センター |
| 39-14.  2000. 6 | 生徒たちが地球環境問題を考えるための科学実験 | | | ４ | 有 |  | | 理科の教育  Vol.49，No.6,  pp.36-39 | 日本理科教育  学会編･  東洋館出版 |
| 40-15.  2000.12 | 青少年の科学観の調査 | | | ６ | 有 |  | | 物理教育  Vol.48，No.6，  pp.506-511 | 日本物理教育学会 |
| 41.  2001. 3 | 環境ＮＧＯサイエンスＥネットの2000年度の活動 | | | 14 | 無 |  | | 京都教育大学環境教育研究年報　第９号  pp.109-122 | 京都教育大学教育学部附属環境教育実践センター |
| 42-16.  2002. 3 | 青少年の環境意識の調査 | | | ４ | 有 | 笠原三紀夫 | | 近畿の物理教育　第８号  pp.9-12 | 日本物理教育  学会近畿支部  年報 |
| 43.  2002. 3 | 環境ＮＧＯサイエンスＥネットの2001年度の活動 | | | 14 | 無 |  | | 京都教育大学環境教育研究年報　第10号  pp.29-42 | 京都教育大学教育学部附属環境教育実践センター |
| 44-17.  2002. 5 | サボニウス風車型風力発電器を作って風力発電をしよう | | | ３ | 有 |  | | 理科の教育  Vol.51，No.5,  pp.61-63 | 日本理科教育  学会編･  東洋館出版 |
| 45-18.  2002.12 | 情報・通信ネットワークを利用したサイエンスＥネットの実践 | | | ４ | 有 |  | | 理科の教育  Vol.51，No.12,  pp.57-60 | 日本理科教育  学会編･  東洋館出版 |
| 46-19.  2002.12 | エネルギー・環境教育のカンボジアにおける実践 | | | ５ | 有 |  | | 物理教育  Vol.50，No.6，  pp.385-389 | 日本物理教育学会 |
| 47-20.  2003. 3 | エアロゾルによる地球温暖化・冷却化デモンストレーション実験器 | | | ５ | 有 |  | | 物理教育  Vol.51，No.1，  pp.10-14 | 日本物理教育学会 |
| 48.  2003. 3 | 環境ＮＧＯサイエンスＥネットの2002年度の活動 | | | 共同研究 | 無 | 松森弘治・西山佳奈 | | 京都教育大学環境教育研究年報　第11号  pp.19-35 | 京都教育大学教育学部附属環境教育実践センター |
| 49-21.  2003. 3 | 学校教育及び社会教育におけるエネルギー・環境教育のあり方 | | | 127 | 有 |  | |  | 京都大学博士論文 |
| 50-22.  2003.12 | 教科「科学技術」の実践－エネルギー・環境とものづくり | | | ５ | 有 |  | | 物理教育  Vol.51，No.4  pp.262-266 | 日本物理教育学会 |
| 51-23.  2004. 3 | 子ども達への科学実験教室の運営方法論  －環境ＮＧＯ「サイエンスＥネット」の活動事例をとおして－ | | | ８ | 有 |  | | 青少年教育フォーラム第４号  pp.89-96 | 独立行政法人国立オリンピック記念青少年センター |
| 52.  2004. 3 | 環境ＮＧＯサイエンスＥネットの2003年度の活動 | | | 共同研究 | 無 | 松森弘治・松井真由美・長濱聖・  川村康文 | | 京都教育大学環境教育研究年報　第12号  pp.69-89 | 京都教育大学教育学部附属環境教育実践センター |
| 53-24.  2004. 7 | インターネットを利用する環境教育のための教材作成法に関する研究　－酸性雨をテーマとした高校化学の実践授業を例として－ | | | 共同研究 | 有 | 孫暁萌・酒井徹朗 | | 教育システム情報学会誌  Vol.21，No.3，  pp.287-295 | 教育システム情報学会 |
| 54-25.  2004. 9 | 地球温暖化デモンストレーション実験器 | | | ４ | 有 |  | | 物理教育  Vol.52，No.3  pp.233-236 | 日本物理教育学会 |
| 55.  2005. 3 | 環境ＮＧＯサイエンスＥネットの2004年度の活動 | | | 共同研究 | 無 | 松森弘治・石川正昭・川村康文・桜井昭三・藤山周治・福田佳子・松井真由美・松林昭 | | 京都教育大学環境教育研究年報　第13号  pp.77-101 | 京都教育大学教育学部附属環境教育実践センター |
| 56-26.  2005. 3 | 「理科大好きボランティア」事業を利用しての理科実験教室 | | | 10 | 有 |  | | 青少年教育フォーラム第５号  pp.129-138 | 独立行政法人国立オリンピック記念青少年センター |
| 57-27.  2005.11 | 色素増感太陽電池を作って発電実験をしてみよう－ＳＰＰでの授業実践を通して－ | | | ５ | 依頼  ・  有 |  | | 遺伝Vol.59,No.6  pp.15-19 | 裳華房 |
| 58.  2006. 3 | 環境ＮＧＯサイエンスＥネットの2005年度の活動 | | | 共同研究 | 無 | 石川正昭・川村康文・桜井昭三・藤山周治・福田佳子・松井真由美・松林昭・松森弘治・梁川正 | | 京都教育大学環境教育研究年報　第14号  pp.107-127 | 京都教育大学教育学部附属環境教育実践センター |
| 59-28.  2006. 6 | 教員養成系学部大学生にみる小・中学校理科学習の実態と問題点 | | | 共同研究 | 有 | 多田恭子 | | 物理教育  Vol.54，No.2  pp.116-120 | 日本物理教育学会 |
| 60.  2007. 3 | 環境ＮＧＯサイエンスＥネットの2006年度の活動 | | | 共同研究 | 無 | 小竹芳雄・川村康文・福田佳子・松井真由美・松森弘治・梁川正 | | 京都教育大学環境教育研究年報　第15号  pp.141-157 | 京都教育大学教育学部附属環境教育実践センター |
| 61-29.  2007. 3 | 科学教育ボランティアと大学および博物館の関わり方の一考察－エジソン展を事例に－ | | | ９ | 有 | 川村康文・藤原清・多田恭子・森脇清隆・木下達文 | | 青少年教育フォーラム第７号  pp.157-165 | 独立行政法人国立オリンピック記念青少年センター |
| 62-30.  2007.12 | “ぷち発明”をいかした教材としての燃料電池模型自動車 | | | ７ | 有 |  | | エネルギー環境教育研究Vol.2，No.1，  pp.77-83 | 日本エネルギー環境教育学会 |
| 63-31.  2007.12 | 教育センターにおけるエネルギー環境教育講座実施の実態 | | | ５ | 有 |  | | エネルギー環境教育研究Vol.2，No.1，  pp.112-116 | 日本エネルギー環境教育学会 |
| 64-32.  2008. 3 | 色素増感太陽電池で模型自動車を動かす実験教材の開発 | | | 共同  研究 | 有 | 川村康文・吉田加津哉・島田英俊・藤原清 | | 物理教育  Vol.56，No.1  pp.21-24 | 日本物理教育学会 |
| 65.  2008. 3 | 環境ＮＧＯサイエンスＥネットの2007年度の活動 | | | 共同研究 | 無 | 網倉聖子・川村康文・工藤博幸・福田佳子・藤原　清・梁川　正 | | 京都教育大学環境教育研究年報　第16号  pp.143-158 | 京都教育大学教育学部附属環境教育実践センター |
| 66-33.  2008. 5 | エネルギー環境学習のためのサイエンス・ライブ・ショー－温暖化星人から地球をまもる宇宙船にっぽん号のたたかい－ | | | ７ | 有 |  | | エネルギー環境教育研究Vol.2，No.2，  pp.41-47 | 日本エネルギー環境教育学会 |
| 67-34.  2008. 12 | “ぷち発明”をいかした教材としての色素増感太陽電池 | | | 共同研究 | 有 | 小田善治・川村康文・柏倉達也・  柴木悠作・海野貴央・紫藤寛司・  藤原清 | | エネルギー環境教育研究Vol.3，No.1，  pp.71-77 | 日本エネルギー環境教育学会 |
| 68-35.  2008. 12 | “ぷち発明”をいかした教材としてのサボニウス型風車風力発電機 | | | 共同研究 | 有 | 川村康文・小林昭智・松林昭・  藤原清 | | エネルギー環境教育研究Vol.3，No.1，  pp.79-83 | 日本エネルギー環境教育学会 |
| 69.  2009. 6 | 「ミニ・サイエンス・ライブ・ショー」の試行2008から | | | ５ | 無 | 川村康文 | | 科学実験教材研究年報，創刊号，pp.37-41 | ＮＰＯ法人サイエンスＥネット |
| 70-36.  2009. 9 | 色素増感太陽電池を搭載した模型自動車実験教材の開発 | | | 共同  研究 | 有 | 小田善治・川村康文 | | 物理教育  Vol.57，No.3,  pp.220-223 | 日本物理教育学会 |
| 71.  2009.10  20 | ミニ・サイエンス・ライブ・ショーで開く夢-2009- | | | ４ | 依頼  ・無 | 川村康文  （物性研究にも掲載依頼） | | 素粒子論研究第117巻第4号  pp.D122-D125 | 素粒子論グループ |
| 72.  2009.10  20 | 「科学実験教材研究年報」発刊に何を期待するか-ＮＰＯ法人サイエンスＥネットの挑戦- | | | ３ | 依頼  ・無 | 山下芳樹・川村康文・松林昭・藤原清・網倉聖子  （物性研究にも掲載依頼） | | 素粒子論研究第117巻第4号  pp.D129-D131 | 素粒子論グループ |
| 73.  2009.10  20 | 高校物理「電磁気」分野での『理科ねっとわーく』の特徴 | | | ４ | 依頼  ・  無 | 島野誠大・林壮一・出口英二・  川村康文  （物性研究にも掲載依頼） | | 素粒子論研究第117巻第4号  pp.D159-D162 | 素粒子論グループ |
| (71）  2010. 1  5 | ミニ・サイエンス・ライブ・ショーで開く夢-2009- | | | ４ | 依頼  ・  無 | 川村康文  （素粒子論研究にも掲載依頼） | | 物性研究，  vol93,no.4  pp.486-489 | 物性研究刊行会 |
| (72)  2010. 1  5 | 「科学実験教材研究年報」発刊に何を期待するか-ＮＰＯ法人サイエンスＥネットの挑戦- | | | ３ | 依頼  ・  無 | 山下芳樹・川村康文・松林昭・藤原清・網倉聖子  （素粒子論研究にも掲載依頼） | | 物性研究，  vol93,no.4  pp.493-495 | 物性研究刊行会 |
| (73)  2010. 1  5 | 高校物理「電磁気」分野での『理科ねっとわーく』の特徴 | | | ４ | 依頼  ・  無 | 島野誠大・林壮一・出口英二・  川村康文  （素粒子論研究にも掲載依頼） | | 物性研究，  vol93,no.4  pp.523-526 | 物性研究刊行会 |
| 74-37.  2010. 6  14 | 色素増感太陽電池搭載型新型模型自動車の開発と実践 | | | 共同  研究 | 有 | 川村康文・原尚志・兒玉明典・曽根均・柏倉達也・紫藤寛司 | | 物理教育  Vol.58，No.2,  pp.84-88 | 日本物理教育学会 |
| 75.  2010. 6 | 授業の達人(セミナー)にみる理科教師力 | | | 共同  研究 | 無 | 川村康文・朽津恵理 | | 科学実験教材研究年報2号 | ＮＰＯ法人サイエンスＥネット |
| 76.  2010. 6 | 国民文化祭・京都をサブテーマソングで盛り上げる会にみるサイエンス・コミュニケーション | | | ５ | 無 | 川村康文 | | 科学実験教材研究年報2号 | ＮＰＯ法人サイエンスＥネット |
| 77-38.  2010. 7 | 理学部物理系大学生にみる小・中・高等学校での理科学習の実態と問題点 | | | 共同研究 | 有 | 川村康文・中村保裕・井上徳也 | | 理科教育学研究　Vol.51，No.1,pp.129-135 | 日本理科教育学会 |
| 78-39.  2010. 12 | 身近なドリンクでできる燃料電池搭載型模型自動車教材の開発およびそれを利用した実践 | | | 共同研究 | 有 | 川村康文，墨谷悦史，一木博，田山朋子 | | エネルギー環境教育研究Vol.5，No.1，  pp.81-85 | 日本エネルギー環境教育学会 |
| 79-40.  2010. 12 | “ぷち発明”をいかした教材としての３段サボニウス型風車風力発電実験機 | | | 共同研究 | 有 | 川村康文，小林昭智，斉藤隆薫，藤原清，辻川達美 | | エネルギー環境教育研究Vol.5，No.1，  pp.101-106 | 日本エネルギー環境教育学会 |
| 80-41.  2010. 12 | 擬人化と体験学習 | | | 共同研究 | 有 | 板東昌子，山下芳樹，上田倫也，石尾広武，川村康文，前直弘 | | 京都大学  高等教育研究  第16号 | 京都大学　高等教育研究センター |
| 81-42.  2011. 3 | 自然現象の可視化－親子理科実験教室から学ぶ－ | | | 共同研究 | 有 | 山下芳樹，板東昌子，石尾広武，上田倫也，川村康文，前直弘 | | 立命館高等教育研究, 第11号, pp.199- 212 | 立命館大学 |
| 82.  2011. 7 | 次世代層教育としてのエネルギー環境教育-2011 | | | ５ | 依頼論文 |  | | 電気評論, 第564号,pp.66- 70 |  |
| 83-43.  2011. 9 | 多人数対応型地球温暖化デモンストレーション実験機 | | | 共同研究 | 有 | 川村康文，田代佑太 | | 科学教育研究, Vol.35,　No.3, pp.256- 263 | 日本科学教育  学会 |
| 84-44.  2011. 12 | 環境教育教材としてのダイナミックな三段サボニウス型風車風力発電機 ―液晶テレビもみられる自作サボニウス型車風力発電機を用いて― | | | 共同研究 | 有 | 川村康文・田山朋子・斉藤隆薫 | | エネルギー環境教育研究, 第６巻, 第１号, pp.69-74 | 日本エネルギー環境教育学会 |
| 85-45.  2011. 12 | 現職教員からみた「理科デジタル教材」の利用に関する目的意識と活用場面－「理科ねっとわーく」の授業実践事例から－ | | | 共同研究 | 有 | 川村康文・中川一史・中村保裕・三瓶敦司 | | 科学教育研究, Vol.35, No.4, pp.319 - 329 | 日本科学教育  学会 |
| 86-46.  2011. 12 | つながる思いプロジェクト―第１回　福島県西郷村での実践― | | | ４ | 有 |  | | エネルギー環境教育研究, 第６巻, 第１号,pp.29-32 | 日本エネルギー環境教育学会 |
| 87-47.  2012. 3 | 東日本大震災　つながる思いプロジェクト－岩手県久喜小学校での実践とその後－ | | | ４ | 有 |  | | 日本エネルギー学会誌, 第91巻，第3号,  pp.243-246 | 日本エネルギー学会 |
| 88-48.  2012. 3 | 理科教員養成における模擬授業の効果に関する研究 | | | 共同研究 | 有 | 川村康文・田代佑太 | | 科学教育研究, 第36巻, 1号, pp.44-52 | 日本科学教育  学会 |
| 89-49.  2012. 3 | 「運動中の物体にはたらく力」の認識に関する実態調査―MIF素朴概念が高学年ほど増加していくことについて― | | | 共同研究 | 有 | 加藤伸明・定本嘉郎・川村康文 | | 科学教育研究, 第36巻, 1号, pp.53-60 | 日本科学教育  学会 |
| 90-50.  2012. 6 | 市民とともに学ぶ色素増感太陽電池 | | | 共同研究 | 有 | 川村康文・田山朋子・児玉明典 | | 日本エネルギー学会誌, 第91巻，第6号 pp.503-507 | 日本エネルギー学会 |
| 91-51.  2012. 7 | 市民とともに学ぶ風力発電 | | | 共同研究 | 有 | 川村康文・田山朋子・斉藤隆薫・本多賢一郎 | | 日本エネルギー学会誌, 第91巻，第7号 pp.629-633 | 日本エネルギー学会 |
| 92-52.  2012. 7 | 理科教員養成課程学生の実験実習による「科学」イメージの変化：集団式潜在連想テストによる測定 | | | 共同研究 | 有 | 守一雄・川村康文・多田（戸田）恭子 | | 共生社会システム研究，第6巻，第1号  pp.322-331 | 農林統計出版 |
| 93.  2012.12 | デジタルコンテンツおよびICTを活用した高校理科授業 | | | ４ | 依頼論文 |  | | 理科の教育  Vol.61，No.12,  pp.34-37 | 日本理科教育  学会編･  東洋館出版 |
| 94-53.  2013. 6 | 太陽光のもとで走る色素増感太陽電池搭載模型自動車 | | | ５ | 有 | 川村康文・渡部温・横山昇平・田山朋子 | | エネルギー環境教育研究, 第7巻, 第2号, pp.69-73 | 日本エネルギー環境教育学会 |
| 95-54.  2013. 6 | 理科教育法における模擬授業実施時の担当班の人数に関する研究 | | | 9 | 有 | 海老崎功・川村康文・松本悠 | | 科学教育研究, 第37巻, 3号,pp. 235- 243 | 日本科学教育  学会 |
| 96-55  2013. 9 | 手作り発電機を用いたサボニウス型風車風力発電機の教育教材の開発 | | | 共同研究 | 有 | 川村康文・本多賢一郎・井筒理・松本悠 | | 日本エネルギー学会誌, 第92巻,第9号,  pp.913 - 918 | 日本エネルギー学会 |
| 97-56.  2013.11 | 高校生が授業内でできる電気伝導性ガラス製作とそれを用いた色素増感太陽電池実験の授業実践 | | | 共同研究 | 有 | 川村康文・渡部温・松本悠・横山昇平 | | 日本エネルギー学会誌, 第92巻,第11号,  pp.1006 - 1013 | 日本エネルギー学会 |
| 98-57.  2014. 6 | 理科学習と生活経験が中学生の力学概念に及ぼす影響 | | | 共同研究 | 有 | 加藤伸明・川村康文・定本嘉郎・賀原一陽 | | 科学教育研究, 第38巻,2号  pp.107-116 | 日本科学教育  学会 |

教育上の業績

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 発　表  年　月 | 論　　文　　名 | 本人執筆頁数 | 審査 | 共 同 執 筆 者 名 | 発表誌名（書） | 発行機関または発行所名 |
| 1987.10 | 昭和62年度1年生オリエンテ-ション合宿の報告 | 11 | 無 | 第1学年担任団  (含 川村康文) | 京都教育大学附属高校研究紀要　第42号  pp.31-60 | 京都教育大学附属高校 |
| 1988. 3 | ｢生きがいについて｣ －H・R活動の中でのとりくみ －その１－ | 16 | 無 |  | 京都教育大学教育実践研究年報　第4号  pp.181-196 | 京都教育大学附属教育実践研究センター |
| 1997. 3 | ｢生きがいについて｣ －H・R活動の中でのとりくみ －その２－ | 14 | 無 |  | 京都教育大学教育実践研究年報　第13号  pp.233-246 | 京都教育大学附属教育実践研究センター |
| 1998. 3 | 現在の高校生の生きがいについて | 12 | 有 |  | 教科教育学研究　第16集,  pp.255-266 | 日本教育大学  協会第二常設  委員会 |
| 1999.8.  1 | ある高校の生徒の実態  「現代を生きる生徒の心の世界－心を読む心の科学から－日本心理学会公開シンポジウム | ２ | 無 |  | 平成11年度文  部省科学研究費補助金研究成果公開促進費研究成果発表（B）補助事業 |  |
| 2007. 3 | 親の心に安らぎを与える携帯電話による安全教育システム「子どもを危険から守る」 | 7 | 無 |  | 文部科学省委託事業「子どもの安全に関する情報の効果的な共有システムに関する調査研究」報告書「子どもを危険から守る」 | 文部科学省委託事業「子どもの安全に関する情報の効果的な共有システムに関する調査研究」推進委員会 |
| 2008. 3 | 「子どもの安全に関する情報の効果的な共有システムに関する調査研究」 | ３ | 無 | 堀知泰・岡本正志・川村康文・銕川陽一・西本好江・藤原清・間々田和彦 | 文部科学省委託事業平成19年度「子どもの安全に関する情報の効果的な共有システムに関する調査研究」報告書 | 文部科学省委託事業平成19年度「子どもの安全に関する情報の効果的な共有システムに関する調査研究」京都教育大学附属桃山小学校推進委員会 |
| 2008. 3 | 平成19年度　理科大好きボランティア支援　報告書 | 監修 | 無 | 監修／川村康文　発行／独立行政法人科学技術振興機構 | 平成19年度　理科大好きボランティア支援　報告書 | 独立行政法人科学技術振興機構 |

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **学　会　発　表・研　究　発　表** | | | | | | |
| 発表年月 | | 発 表 題 目 | | 単独･共同の別 | | 機関名または発表場所 |
| 1986. 8 | | コンピュ-タ実習｢放物運動｣実践報告 | | 単独 | | 日本理化学協会全国理科教育大会大阪大会 |
| 1986.10 | | 音波教材へのコンピュ-タ導入の一事例 | | 単独 | | 日本理科教育学会近畿支部大会京都大会 |
| 1987.10 | | 本校生徒の理科学習の実態とその考察 | | 共同  (川村が発表) | | 全国附属学校研究発表大会  (於筑波大附属高校) |
| 1988.10 | | 本校生徒の理科学習の実態とその考察(その2) | | 共同  (川村が発表) | | 全国附属学校研究発表大会  (於京都教育大学附属高校) |
| 1993.10 | | ＳＴＳ教育を進める基礎としての素朴概念の克服について　－その１－ | | 共同  (川村が発表) | | 日本理科教育学会近畿支部大会滋賀大会 |
| 1994. 8 | | ＳＴＳ教育を進める基礎としての素朴概念の克服について　－その２－ | | 共同  (川村が発表) | | 日本理科教育学会全国大会  仙台大会 |
| 1994. 8 | | ＳＴＳ教育を進める上での理科離れ・物理離れの実態調査 | | 共同 | | 日本理科教育学会全国大会  仙台大会 |
| 1994.11 | | ＳＴＳ教育を進める基礎としての素朴概念の克服について　－その３－ | | 共同  (川村が発表) | | 日本理科教育学会近畿支部大会奈良大会 |
| 1995. 8 | | 自然認識を高める教材としての慣性力実験器の作製 | |  | | 日本理化学協会全国理科教育大会滋賀大会 |
| 1995.11 | | 放物運動の学習におけるコンピュータ・シミュレーションの先行オーガナイザ的利用 | | 共同  (川村が発表) | | 関西心理学会第107大会 |
| 1995.11 | | マルチメディアを利用したＳＴＳ教育の実践 | | 単独 | | 日本理科教育学会近畿支部大会和歌山大会 |
| 1996.11 | | 力学法則における高校生の素朴概念を変容させるための実験演示法の開発 | | 共同  (川村が発表) | | 日本教育心理学会第38回総会 |
| 1997. 8 | | 児童・生徒の実験態度や意欲の評価法の開発－教育実習生が担当する高校物理の生徒実験における試み | | 単独 | | 日本理科教育学会全国大会  上越大会 |
| 1998. 2 | | 高校生の生命倫理観の調査 | | 単独 | | 日本理科教育学会近畿支部大会大阪大会 |
| 1998. 2 | | 環境問題に関する生徒の意識把握について | | 共同 | | 日本理科教育学会近畿支部大会大阪大会 |
| 1998. 8 | | 中学校新教育課程における理科学習の問題点 | | 単独 | | 日本理科教育学会全国大会  長崎大会 |
| 1998.11 | | 高校生の科学観(1) | | 単独 | | 日本物理教育学会近畿支部物理教育研究集会第29回 |
| 1999. 2 | | 高校生の環境意識構造について | | 単独 | | 日本理科教育学会近畿支部大会京都大会 |
| 2001.11 | | サイエンスＥネットの実践　－2000年度－ | | 単独 | | 日本物理教育学会近畿支部物理教育研究集会第31回 |
| 2005. 8 | | e-learningコンテンツ作成の実践 | | 共同 東原義訓  (川村が発表) | | 日本理科教育学会第55回全国大会鳴門大会 |
| 2005. 9 | | 現代ＧＰによるe-learningコンテンツの作成 | | 単独 | | 日本科学教育学会第29回年会岐阜大会 |
| 2006. 8 | | 空気中の水蒸気量の変化を表すモデル図・グラフを理解するためのワークシートの活用 | | 共同 小高正寛 | | 日本理科教育学会第56回全国大会奈良大会 |
| 2006. 8 | | 現代ＧＰによるe-learningコンテンツの作成２ | | 単独 | | 日本科学教育学会第30回年会つくば大会 |
| 2006. 8 | | 身の回りのモノを用いた理科実験のデジタルコンテンツ化とそれを用いてのe-learningの試み | | 共同 平方素樹 | | 日本科学教育学会第30回年会つくば大会 |
| 2007. 8.19 | | サイエンス・コミュニケーションの１つの方法論－温暖化星人から地球をまもる宇宙船にっぽん号のたたかい－ | | 単独 | | 日本科学教育学会第31回年会 |
| 2008. 3  .24 | | 色素増感太陽電池を用いたエネルギー環境教育教材の開発とその学習効果－その１ | | 共同 吉田加津哉 | | 日本物理学会　第63回年次大会 |
| 2008. 3  .24 | | 色素増感太陽電池を用いたエネルギー環境教育教材の開発とその学習効果－その２ | | 共同　吉田加津哉 | | 日本物理学会　第63回年次大会 |
| 2008. 8.24 | | 理科ねっとわーくを用いた理科授業の学習効果 | | 単独 | | 日本科学教育学会第32回年会 |
| 2009. 8.26 | | 理科ねっとわーくを授業に導入した場合の学習効果について | | 単独 | | 日本科学教育学会第33回年会 |
| 2009. 8.4 | | 自走式色素増感太陽電池搭載型模型自動車の軽量化の試み | | 単独 | | 日本物理教育学会　第26回物理教育研究大会　2009年度物理教育学会年会 |
| 2010. 8.7 | | 実験でつづる物理授業－力学編－サイエンス・コミュニケーション特別演習ゼミとして | | 単独 | | 日本理科教育学会第60回全国大会　8号　山梨大会 |
| 2010. 8.10 | | 高校物理教師をめざす学生への学部における特別ゼミ | | 単独 | | 日本物理教育学会　第27回物理教育研究大会　2010年度物理教育学会年会 |
| 2010. 11.27 | | 物理実験指導の自信が身につく方法論の模索 | | 単独 | | 日本理科教育学会近畿支部大会（京都大会） |
| 2011.8.23 | | 実験でつづる物理授業－電磁気編　－サイエンス・コミュニケーション特別演習ゼミとして－ | | 単独 | | 日本科学教育学会第35回年会東京大会 |
| 2011.12.3 | | 理科大好き実験教室　第３期の実践 | | 単独 | | 日本理科教育学会　第50回関東支部大会 |
| 2012.3.15 | | 理科系教職課程における模擬授業の効果に関する事例研究－自信度とイメージマップを通して－ | | 共同 海老崎功 | | 第18回大学教育研究フォーラム |
| 2012.3.24 | | 市民とともに学ぶ物理学 | | 単独 | | 日本物理学会第67回年次大会 |
| 2012.8.28 | | 実験指導ができる理科教師の養成の方法論の実践的研究 | | 単独 | | 日本科学教育学会第36回年会東京大会 |
| 2012.8.28 | | 色素増感太陽電池への手作り電気伝導性ガラスの利用 | | 共同 渡部温 | | 日本科学教育学会第36回年会東京大会 |
| 2012.8.28 | | 波の性質を理解するための実験としての手作りリップルタンク | | 共同　高橋佳香 | | 日本科学教育学会第36回年会東京大会 |
| 2012.8.28 | | 実験で語る物理授業「光学機器」 | | 共同　柴崎裕貴 | | 日本科学教育学会第36回年会東京大会 |
| 2012.8.28 | | 手作り発電機を用いた風力発電教材の開発 | | 共同　本多賢一郎 | | 日本科学教育学会第36回年会東京大会 |
| 2012.8.28 | | 物理教育の実態と実践的物理教員養成方法論の一提案 | | 共同　五十嵐航 | | 日本科学教育学会第36回年会東京大会 |
| 2012.8.28 | | 実験で語る物理授業「光速の測定」 | | 共同　松本悠 | | 日本科学教育学会第36回年会東京大会 |
| 2012.8.28 | | 理科室でできる「音速測定の実験」 | | 共同　石黒貴裕 | | 日本科学教育学会第36回年会東京大会 |
| 2012.8.28 | | 実験で語る物理授業「偏光」 | | 共同　清水祥彦 | | 日本科学教育学会第36回年会東京大会 |
| 2012.8.28 | | 実験で学ぶ物理学「共振」 | | 共同　中嶋孝允 | | 日本科学教育学会第36回年会東京大会 |
| 2012.8.28 | | 振幅の大きい単振り子の実験 | | 共同　鳥塚潔 | | 日本科学教育学会第36回年会東京大会 |
| 2012.8.28 | | 理科教職課程における模擬授業の効果に関する事例研究 | | 共同　海老崎功 | | 日本科学教育学会第36回年会東京大会 |
| 2012.8.28 | | 実験で語る物理授業「回折」 | | 共同　横山昇平 | | 日本科学教育学会第36回年会東京大会 |
| 2012.8.28 | | 実験で語る物理授業「音波」 | | 共同　遠藤修司 | | 日本科学教育学会第36回年会東京大会 |
| 2012.8.29 | | 色の実験 | | 共同　島村大致 | | 日本科学教育学会第36回年会東京大会 |
| 2012.11.24 | | 理科教員養成の方法としての川村メソッドの確立に向けて | | 単独 | | 日本物理教育学会近畿支部第41回　物理教育研究集会 |
| 2012.11.24 | | 理科教職課程における川村メソッドでのe-ラーニング | | 共同　海老崎功・松本悠 | | 日本物理教育学会近畿支部第41回　物理教育研究集会 |
| 2013.7.17 | | Kawamura's Top,Clip motor car and Fuel cell model car From Rikadaisuki Jikkensitu | | 単独 | | 第12回アジア・太平洋物理会議（APPC12） |
| 2013.7.17 | | The huge dynamics cart as teaching device in which students can ride | | 共同　Osamu.IZUTU, Yasufumi.KAWAMURA, Yu.MATSUMOTO | | 第12回アジア・太平洋物理会議（APPC12） |
| 2013.7.17 | | Evaluation of "RIKADAISUKI-experiment classroom" | | 共同　Yu.MATSUMOTO , Yasufumi.KAWAMURA, | | 第12回アジア・太平洋物理会議（APPC12） |
| 2013.8．6 | | エネルギー分野におけるサイエンスコミュニケーションの実践 | | 単独 | | 第22回日本エネルギー学会大会 |
| 2013.8.10-11 | | かわむらのコマでいろいろまわしてみよう | | 単独 | | 2013年度物理教育学会年会　日本物理教育学会　第30回物理教育研究大会 |
| 2013.8.10 | | 理科教育法における模擬授業内容の決定についての考察 | | 共同　海老崎功，川村康文，松本悠 | | 2013年度物理教育学会年会　日本物理教育学会　第30回物理教育研究大会 |
| **公　　 開 　　 授 　　 業** | | | | | | |
| 発表年月 | 授業題目 | | 機関名または発表場所 | | | |
| 1990.11 | 実験｢気柱の共鳴｣ | | 京都教育大学附属高校第1回公開授業 | | | |
| 1991. 2 | ｢エネルギーと環境問題｣ | | 京都教育大学附属教育実践研究センター  　・環境科学研究部会 | | | |
| **著　　　　　書** | | | | | | |
| 発行年月 | 書　　　名 | | | | 本人執筆頁数 | 発　行　所　名 |
| 1989. 3 | エレガンス物理 | | | | ３３２ | ルガール社(自費出版) |
| 1994.12 | エレガンス物理 Ver.２ | | | | ３３８ | ルガール社(自費出版) |
| 1997. 7 | 先生になってよかった  ・みんなで乗り越えた  ・みんな一人前 | | | | 合計４頁  　　２  ２ | 東洋館出版社（共著） |
| 1998. 9 | たのしくわかる物理実験辞典  ・ハンディ肩押し小僧-力の力点･支点･作用点  ・慣性打ち上げ台車  ・放物運動  ・ボイル・シャルルの法則  ・コンピューターで音声の波形を  －楽器を用いていろいろな波形をみよう!－  ・切っても切っても磁石  ・磁気カード  ・太陽電池で目玉焼き-姿を変えるエネルギー | | | | 合計15頁  　　２  　　２  　 ２  　　２  　　２  　　１  　　２  　　２ | 東京書籍  （共著・左巻健男・滝川洋二編著） |
| 1999. 9 | 話題の化学物質100の知識  ・地球温暖化と温室効果ガス   * 大気汚染と酸性雨   －窒素酸化物，硫黄酸化物  ・発電効率の上がった太陽電池 | | | | 合計６頁  ２  ２  ２ | 東京書籍  （共著・左巻健男編著） |
| 1999. 9 | ふしぎ体感，科学実験  ・フロッピーケース型加速度計  ・温室効果実験 | | | | 合計８頁  ４  ４ | 講談社ブルーバックス  （共著・檀上慎二・オンライン自然科学教育ネットワーク） |
| 1999.11 | 新・京都自然紀行   * 御香水 * 揚水発電ってなに？ | | | | 合計８頁 ４ ４ | 人文書院  （共著・中島暢太郎監修・京都地学教育研究会編） |
| 2000. 7 | サイエンスＥネットの親子でできる科学実験工作 | | | | １３９頁　（内３４頁） | かもがわ出版  （共著・川村康文編著） |
| 2001. 4 | サイエンスＥネットの親子でできる科学実験工作２ | | | | １３２頁 （内２７頁） | かもがわ出版  （共著・川村康文編著） |
| 2002. 3 | 高等学校理科用文部科学省検定済教科書 物理Ⅰ  第２編　波動 | | | | ２６３頁  （内７４頁） | 東京書籍（共著 三浦登，高木英典，川村康文他21名） |
| 2002. 5 | 「太陽電池で目玉焼きができる」『物理がわかる。』 | | | | ２頁(pp.42-43) | AERA Mook　朝日新聞社 |
| 2002.12 | 「カンボジアにおけるエコ科学実験教室」『どうして，理科を学ぶの？』数学セミナー別冊ガリレオ・サイエンスシリーズNO.1 | | | | ５頁  (pp.168-172) | 日本評論社（共著・滝川洋二＋理科カリキュラムを考える会編） |
| 2003. 3 | ＳＴＳ教育読本 | | | | ２１９頁  （内７１頁） | かもがわ出版  （共著・川村康文編著） |
| 2003. 8 | 『図解雑学　素粒子・クオークのはなし』   1. 元素がわかるまで 2. 原子から原子核へ | | | | 合計６４頁  　　２６  　　３８ | ナツメ社  （共著・和田純夫監修　小林昭三・江尻有郷・川村康文） |
| 2003. 8 | 身近な道具と機械の図鑑 | | | | ７９頁 | ＰＨＰ研究所  （共著・川村康文監修） |
| 2004. 2 | 高等学校理科用文部科学省検定済教科書 物理Ⅱ  第３編物質と原子 第１章原子，分子の運動  及び 課題研究の「２　課題研究の展開例１」 | | | | ３２０頁  （内３０頁） | 東京書籍（共著 三浦登，高木英典，川村康文他21名） |
| 2004. 7 | 地球環境が目でみてわかる科学実験 | | | | １１２頁 | 築地書館 |
| 2004. 8 | サイエンスＥネットの楽しくわかる理科大実験 | | | | １４４頁  （内６４頁） | かもがわ出版  （共著・川村康文編著） |
| 2005. 2 | “食の安全”をめぐるポイント話題  遺伝子組替をめぐるポイント話題  「楽しい理科授業２月号」Vol.37,No.462 | | | | １頁  p.36 | 明治図書 |
| 2005．7 | 「バターエンジンで進む船」『Science & Technology』  第14巻第７号，pp.38-39 | | | | ２頁  pp.38-39 | 科学技術広報財団 |
| 2006．2 | 「新しい高校物理の教科書」　現代人のための高校理科  ・7-1 電子と光 | | | | １３頁  pp.299-311 | 講談社ブルーバックス（共著・山本明利・左巻健男編著） |
| 2006. 3 | 遊んで学ぼう！家庭でできるかんたん理科実験 | | | | １２８頁 | 文英堂 |
| 2006.11 | 理工系＆バイオ系失敗しない大学院進学ガイド | | | | ４頁  pp.64-67 | 日本評論社（NPO法人サイエンス・コミュニケーション＋日本評論社編集部） |
| 2007．3 | 子ども科学技術白書Ⅷ  まんが時空船フォトン号の冒険　量子ビームの世界 | | | | ６４頁 | 文部科学省科学技術・学術政策局調査調整課研究振興局基礎基盤研究課量子放射線研究推進室 |
| 2007. 6 | どうして飛んでいく方向に力は作用しないの？  「楽しい理科授業6月号」Vpl.39，No.490 | | | | １頁  p.8 | 明治図書 |
| 2007. 9 | 家庭にあるもので科学をひもとく | | | | ３頁  pp.51-53 | 日経キッズプラス／日経ホーム出版 |
| 2007.10 | ＰＩＳＡ型読解力を育てる“新教材”  “バイオエネ”が題材のテキスト＆テスト問題  「楽しい理科授業10月号」Vol.39,No.494 | | | | ３頁  pp.35-37 | 明治図書 |
| 2007.12 | 磁石って何？  「Science　Window」12月号 第1巻9号 | | | | ２頁  pp.12-13 | 独立行政法人科学技術振興機構　科学技術理解増進部メディア課 |
| 2008. 1 | 「ブルンナー教材を活用した授業実践を通して」『持続可能な社会のためのエネルギー環境教育～欧米の先進事例に学ぶ～』 | | | | １１頁  pp.233-243 | 国土社（共著：監修/社団法人科学技術と経済の会　編/エネルギー環境教育研究会 |
| 2008. 9 | 「自由研究のテーマが見つけられない」 | | | | １頁  p.74 | プレジデント　ファミリー９月号／プレジデント社 |
| 2009. 3.  20 | 東京理科大学・坊ちゃん選書  よくわかる、おもしろ理科実験  －身近な現象の探究から環境問題へのアプローチまで- | | | | 125頁 | オーム社 |
| 2009. 4.  20 | 理科教育法－理論を踏まえた理科の授業実践  「エネルギー」領域の教材開発と指導法 | | | | 26頁  pp.32-57 | 大学教育出版  山田卓三・秋吉博之編著 |
| 2009.10.28 | 理科まとめ上手　物質とエネルギー | | | | 55頁 | 受験研究社  川村康文編著 |
| 2009.10.28 | 理科まとめ上手　生命・地球と宇宙 | | | | 37頁 | 受験研究社  川村康文編著 |
| 2009.11.1 | 物理学がわかる | | | | 210頁 | 技術評論社 |
| 2010.06.07 | 電気の大研究　光・熱・力に変わるふしぎなエネルギー | | | | 80頁 | ＰＨＰ研究所  川村康文監修 |
| 2010.07.15 | 「自由研究のテーマが見つけられない」『プレジデント　ファミリー　プラス』-しつけに効く、知力が上がる「親の言葉」大百科　2010年8月号別冊 | | | | １頁 | プレジデント　ファミリープラス／プレジデント社 |
| 2010.07.20 | 確実に身につく基礎物理学(上) | | | | 349頁 | ソフトバンク　クリエイティブ |
| 2010.08 | 大学入試　スーパー暗記法　化学反応式 | | | | 192頁  （うち18頁） | 受験研究社  川村康文編著 |
| 2010.09.25 | 実験で実践する　魅力ある理科教育　－小中学校編－ | | | | 254頁  （うち34頁） | オーム社  川村康文・山下芳樹・秋吉博之・荻原彰共編 |
| 2011. 3.25 | 理科大好き物理実験　力学編－実験から始める３段階ステップアップ学習 | | | | 158頁 | 講談社サイエンティフィック・川村康文編著 |
| 2011.1.25 | 理科実験大百科第11集 | | | | 112ページ | 少年写真新聞社(pp.5-6,70執筆) |
| 2011. 4.24 | 確実に身につく基礎物理学(下） | | | | 279頁 | ソフトバンク　クリエイティブ |
| 2011. 4.20 | ドリルと演習シリーズ　基礎物理学 | | | | 285頁 | 電気書院・川村康文編著 |
| 2011. 6.25 | 実験で実践する　魅力ある理科教育　－高校編－ | | | | 276頁 | オーム社  川村康文，長南幸安，秋吉博之，三浦和彦 |
| 2011. 10.1 | Science Window 特集　放射線をどう教える？ | | | | 17頁 | 独立行政法人　科学技術振興機構 |
| 2011. 11.10 | わかりやすい理工系の力学 | | | | 190頁 | 講談社サイエンティフィック  川村康文・鳥塚潔・山口克彦・細田宏樹 |
| 2012. 3.1 | 「私の研究室」ただいま「つながる思いプロジェクト」実施中！！ | | | | ２頁 | 学校法人　東京理科大学 |
| 2012. 3.25 | 理論がわかる　電気の手づくり実験 | | | | 191頁 | オーム社  川村康文，青柳和宏，五十嵐航，伊藤量，河野公貴，兒玉明典，斉藤隆薫，田代佑太，中村保裕，藤田晋吾，本多賢一郎，松田峻，山下香織，渡部温 |
| 2012.  5.28 | 自分で作る太陽光発電 | | | | 144ページ | 総合科学出版 |
| 2012.6.1 | おとなが学び直す　物理でわかる身の回りの疑問 | | | | 200ページ | 実業之日本社 |
| 2012．  6.11 | 名探偵コナン理科ファイル空気と水の秘密 | | | | 116ページ | 小学館  原作/青山剛昌　監修/川村康文　まんが/金井正幸　編集協力/新村徳之 |
| 2012．  8.25 | 身近な数学の記号たち | | | | 176ページ | オーム社  岡部恒治・川村康文・長谷川愛美・本丸諒・松本悠 |
| 2012．  10.25 | ドリルと演習シリーズ　基礎化学 | | | | 190ページ | 電気書院  川村康文・芝原寛泰・佐竹彰治・淺原雅浩・佐藤美子・長沼健・長南幸安 |
| 2012．  11.27 | 自分で作るハブダイナモ風力発電＋ | | | | 144ページ | 総合科学出版 |
| 2012．  12.7 | わかりやすい理工系の力学の電磁気学 | | | | 190ページ | 講談社  川村康文, 梅村和夫, 加藤大樹, 北原和夫, 坂田英明, 鈴木 克彦, 鳥塚潔, 本間芳和 |
| 2013．2.12 | ドリルと演習シリーズ　基礎電磁気学 | | | | 94ページ | 電気書院 |
| 2013.3.5 | 理論がわかる　光と音と波の手づくり実験 | | | | 138ページ | オーム社  川村康文＋東京理科大学川村研究室 |
| 2013．4.5 | ドリルと演習シリーズ　基礎力学 | | | | 104ページ | 電気書院 |
| 2013.11.29 | 身近な物理の記号たち　基礎から宇宙まで | | | | 200ページ | オーム社  川村康文・坂田英明・松本悠 |
| 2014.1.25 | 理科実験大百科第14集 | | | | 111ページ | 少年写真新聞社(pp.90-92執筆) |
| 2014.3.26 | 理論がわかる　力と運動の手づくり実験 | | | | 204ページ | オーム社  川村康文＋東京理科大学川村研究室 |
| 2014. 4.1 | 理科教育法　独創力を伸ばす理科授業 | | | | 286ページ | 講談社サイエンティフィック |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年　月 | **デジタルコンテンツ** | 備　　考 |
| 1986.11 | 学習情報研究(学習情報研究所) p.67 PARABOLA <登録番号S2000434> | 自作ソフトウェア |
| 1991. 9 | 教育ソフトらいぶらり --No.1 p.26  放物運動シミュレーション　　<登録番号 No.12-142-001> | 数研出版  (平成3年9月発行) |
| 1994.10 | 数研ソフト総合カタログ p.34  放物運動シミュレーションVer.2 <登録番号 No.11-142-005> | 数研出版  (1994年10月発行) |
| 1994.10 | 数研ソフト総合カタログ p.34  運 動 の 法 則　　　<登録番号 No.11-142-006> | 数研出版  (1994年10月発行) |
| 2002. 7 | 中学校理科　おもりの秘密～ふり子・衝突～ | 旺文社デジタルインスティテュート　家野等監修  編集責任者・川村康文  ・河崎哲嗣 |
| 2003. 2 | 高校物理ⅠＢ「光と光波」 | 科学技術振興事業団 |
| 2003. 2 | 高校物理Ⅰ＜電気＞デジタル教材「携帯電話解体新書」 | 科学技術振興事業団 |
| 2012.4 | エネルギーと放射線 | NHKエンタープライズ |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年　月 | **科学の祭典などの科学実験講師** | 備　　考 |
| 1995.12 | 「ハンディ肩押し小僧」と「背中カキカキ」  加速度を体感しよう | 青少年のための科学の祭典  大阪大会 |
| 1996.11 | ピンクのオルガン  　　（ペットボトルなどをリサイクルしたパイプオルガン） | 青少年のための科学の祭典京都大会 |
| 1997. 2 | サイエンスライブショウ・イン・大阪に参加 | (財)省エネルギーセンター |
| 1997. 8 | サイエンスライブショウ97に参加 | (財)省エネルギーセンター |
| 1997.11 | 地球温暖化実験器  　（二酸化炭素の温室効果実験） | 青少年のための科学の祭典  京都大会 |
| 1997.11 | サイエンスライブショウ97・イン・京都に参加 | (財)省エネルギーセンター |
| 1997.12 | 新エネ・省エネシンポジウム・イン・京都に参加 | (財)省エネルギーセンター |
| 1998. 2 | 「楽しい科学実験- これでわかる電車の動き」 | 大阪市立科学館 |
| 1998.11 | 省エネ電球のふしぎ  （その後，全国各地の大会には毎年実験講師として参加） | 青少年のための科学の祭典  京都大会 |
| 1999. 3 | 「磁気情報の記録のされ方」と「電気力線と電場」 | エデュテイメントフォーラム’９９京都 |
| 2003. 4 | 平成15年度　第１回市民講座「花力発電」 | 岐阜県先端科学技術体験センター |
| 2013. | かわむらのコマ | 第6回万博公園　理科実験野外教室 |
| 2013.7.  27.28 | 渦電流で回る21世紀型のベーゴマ　～かわむらのコマ～ | 青少年のための科学の祭典全国大会 |
| 2013.8.  17.18 | かわむらのコマ | 青少年のための科学の祭典大阪大会 |
| 2013.11.  9.10 | かわむらのコマ | 青少年のための科学の祭典  京都大会 |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **講　演　講　師・シンポジウムパネラーなど** | | |
| 年　月 | 事　　　　　　　　　項 | 依　頼 先 |
| 1994.12 | 体感の物理教育 | 尼崎市教育委員会 |
| 1995. 7 | 大学生の理科離れ・物理離れ | 日本物理学会 京都支部 |
| 1997. 1 | 創造性を育てる理科教育を求めて | 尼崎市教育委員会 |
| 1997. 3 | 理科教育の課題と展望  「高校生にみられる小・中学校理科学習の実態と問題点」 | 香川大学・平成８年度教員養成大学・学部等教官研究集会 |
| 1998. 3 | 学校における環境教育-学習から日常的活動へ  「環境教育と市民活動との接点を求めて」 | 京都教育大学・平成９年度教員養成大学・学部等教官研究集会 |
| 1998. 9 | 「高等学校におけるＳＴＳ教育の実践」 | 日本物理教育学会近畿支部物理教育を考える会 PartⅡ　（大阪市立大学） |
| 1998.11 | 環境教育シンポジウム　「環境教育を学習から日常活動へ」  　司　会（川村康文） | 京都教育大学教育学部  環境教育実践センター |
| 2002. 5 | 楽しい理科のものづくり実験（第44回西日本地区私立小学校教員研修会　教育研修収録 pp.69-70） | 西日本私立小学校連合会 |
| 2003. 6 | 第２回ＪＳＴ　ＩＴ科学技術・理科教育シンポジウム  「授業モデルパッケージ」(普及・促進分科会委員報告) | 科学技術振興事業団 |
| 2003. 8 | 長野市中学校理科研究会講演 | 長野市中学校理科研究会 |
| 2004. 2 | 甲府市教育研究協議会中学校理科部会講演 | 甲府市教育研究協議会理科部会中学校部 |
| 2004. 3 | 授業診断・公開セミナーにおける助言者 | エネルギー環境教育情報センター |
| 2009.10.11 | 科学教育の今日的課題：子どもの理数離れをどうするか　理科教員養成の今日的課題の解決のために | 日仏教育学会2009年度研究大会　公開シンポジウム　科学教育の今日的課題－子どもの理数離れをどうするか－　パネリスト報告要旨集録 |
| 2013.8.8 | 第60回全国中学校理科教育研究会東京大会運営委員会  第1分科会指導助言 | 第60回全国中学校理科教育研究会東京大会運営委員会 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **科　　学　　研　　究　　費** | | | | | |
| 年 度 |  | | 研　　究　　課　　題　　名 | 課題番号 |  |
| H8 | | 奨励研究(B) | 高校物理の力学学習における素朴概念の変容に関する認知心理学的研究 | 08905004 | 研究代表者 |
| H17～H18 | | 特定領域研究 | 科学者の問いとコミュニケーションに注目したサイエンスライター支援システムの開発 | 17011032 | 研究分担者 |
| H18 | | 基盤研究(C) | 少子高齢社会における世代間交流―　インタージェネレーション・プログラムの調査研究 | 17530418 | 研究分担者 |
| H18～H19 | | 萌芽研究 | 青少年のための科学啓蒙活動の効果の科学的測定 | 17650238 | H18は研究分担者  H19は研究代表者 |
| H18～H20 | | 基盤研究(B) | 自然環境と地域社会との関わりを重視した日本型環境教育の構築と展開 | 18300264 | 研究分担者 |
| H19～H21 | | 基盤研究(C) | 高等学校理科総合Ａにおけるエネルギー環境教育教材の開発 | 20500788 | 研究代表者 |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **表　　　　　　彰** | | | |
| 年　月 | 研　究　課　題　名 | | 表 彰 団 体 |
| 1996. 5 | 平成７年度全国教職員発明考案審査員特別賞「慣性力実験器」 | | (株)内田洋行 |
| 1998. 3 | 第46回全日本教職員発明展特別賞(弁理士会長賞)「地球温暖化実験器」 | | 社団法人発明協会 |
| 1999. 3 | 第47回全日本教職員発明展特別賞(内閣総理大臣賞)「慣性力実験器Ⅱ」 | | 社団法人発明協会 |
| 2000. 4 | 第４回サイエンス展示・実験ショー  　アイデアコンテスト奨励賞 「ふしぎの花びら」 | | 科学技術振興事業団 |
| 2000. 6 | 2000年アースディ・イベント　奨励賞  （環境NGOサイエンスＥネットの代表として受賞） | | アース基金協会 |
| 2000. 6 | 第２回ひょうごエコグッズ大賞　優秀賞  「温室効果デモンストレーション実験器」 | | (財)ひょうご環境創造協会 |
| 2001. 3 | 第49回全日本教職員発明展特別賞(入選)「省エネ電球実験器」 | | 社団法人発明協会 |
| 2008. 4.  15 | 文部科学省　科学技術賞（理解増進部門）  　－理科実験教室による青少年や市民の科学技術の幅広い理解増進－ | | 文部科学省 |
| 2009. 3.  18 | 第40回（平成20年度）東レ理科教育賞佳作  　－高電圧低電圧切り替え式手回し発電機の開発－ | | 財団法人　東レ科学振興会 |
| **所　　属　　学　　会　　等** | | | |
| 年 | | 事 項 | |
| 1986.10  1988.10  1988～  1993～  1996～  1996～  1997～  1998～  1998～  1998. 9  1998.10  1998.11  1999. 2  1999. 4～  1999. 9～  2001. 9～  2002. 8～  2002.10～  2002.11～  2002.12～  2004～  2005.6～  2006.4～  2006.7～  2006.7～  2007.4～  2007.5～  2007.8.9～  2007.1  2008.5～  2011．6.1～  2011．7.1～ | | 日本理科教育学会近畿支部大会京都大会運営実行委員  全国附属学校研究発表大会運営実行委員  京都理化学協会幹事役員（1992より庶務副部長，1996より物理研究部長～2002. 3）  日本理科教育学会会員  日本物理教育学会会員  日本科学教育学会会員  京都教育大学教育学部附属環境教育実践センター・環境教育研究年報編集委員  （～2002.3）  日本物理教育学会近畿支部年報及び物理教育近畿支部特集編集委員（～2003.3）  サイエンス・レンジャー（科学技術振興事業団）  日本物理教育学会近畿支部 物理教育を考える会 PartⅡ実行委員  エネルギー環境教育研究フォーラム・地域ブロックリーダー（関西ブロック）  （～2002.3）  日本物理教育学会近畿支部 物理教育研究集会実行委員  日本理科教育学会近畿支部大会京都大会運営実行委員  日本物理教育学会　近畿支部理事（～2003.3）  サイエンスＥネット 代表→理事長（～2010.6）  科学技術学習支援事業推進委員会　提供システム分科会委員」，  2003年度より「普及・促進分科会委員」（～2009.3）  関西テクノアイデアコンテスト０２審査委員（～2002.11）  平成14年度経済産業省電源立地推進調整等事業  （総合エネルギー広報事業（エネルギー教育用教材キット作成配布事業））  ・西野田電工株式会社　花力発電「開発　委員会委員」（～2003.2）  きっづ光科学館ふぉとん「実験開発ワーキンググループ会議」委員（～2008.3）  ストップザ温暖化京都市民会議委員（～2003.2.22）  広領域教育研究会研究開発委員会委員(～2006.3)  日本科学教育学会第30回年会委員（～2006.6）  松下電器（のちにパナソニック株式会社）　リスーピア監修  平成18年度エネルギー教育コーディネーター事業評価委員会委員（～2007.3）  日本科学教育学会年会企画委員（～2008.6）  子どもの安全に関する情報の効果的な共有システムに関する調査研究推進委員会委員(～2008.3)  平成19年度エネルギー教育コミュニケーター事業評価委員会委員（～2008.3）  平成19年度環境教育出前教材「エコ学習トランク」普及事業委員（～2008.3）  日本物理学会　会員  平成20年度エネルギー教育コミュニケーター事業評価委員会委員（～2009.3）  川崎市青少年科学館運営基本計画策定委員（～2012.3.31）  日本科学教育学会第36回年会委員（～2013.6.30） | |